

NEWS RELEASE

世界2番目の昇降機新設市場でエレベーター現地生産を開始
三菱エレベーター・インド 新工場の稼働開始

三菱電機株式会社は、インドの Mitsubishi Elevator India Private Limited（三菱エレベーター・インド社、以下、IMEC社）の新工場を9月15日に稼働し、エレベーターの現地生産を開始します。世界2番目の昇降機新設市場*のインドで製品競争力を強化し、2020年度には同国での販売台数5,000台を目指します。

※：2016年9月現在、当社調べ。



工場外観



三菱エレベーター
「NEXIEZ-LITE」

新工場の概要

所在地	インド共和国 カルナタカ州 ベンガルール(バンガロール)
敷地面積	89,000m ²
総建築面積	25,400m ²
用途	エレベーター機器の製造
稼働時期	2016年9月15日
生産能力	年間5,000台
投資額	1,833百万インドルピー(約34.5億円)
人員	約100名(2016年9月時点)
付属施設	エレベーター試験塔(高さ約41m)、フィールド研修センター

新工場設立の狙い

1. 現地生産化により、製品競争力を強化

- ・インドの中低層建物向けエレベーター「NEXIEZ-LITE（ネクシーズ ライト）」を中心に現地生産化し、価格・納期面で製品競争力を強化
- ・販売・製造・工事・保守の一气通貫体制により、市場ニーズに即した製品・サービスを提供

2. 試験塔・フィールド研修センターにより、製品やサービスの安全性・品質を向上

- ・試験塔で現地調達部品の検証・評価を実施
- ・フィールド研修センターで工事・保守の人材育成を強化
- ・製品やサービスの安全性・品質を高め、ブランド力を向上

新工場設立の背景

インドの昇降機市場は、急速な経済成長に伴い大きく伸びており、年間新設需要は約 48,000 台 (2015 年) *と中国に次ぐ世界 2 番目の市場で、今後も需要増加が予測されます。

当社は、インドにおいて 1995 年に現地代理店を通じて昇降機事業を展開して以来、2012 年 8 月には IMEC 社を設立し、販売・工事・保守体制の強化を進めてきました。また、2014 年 4 月にはインドの中低層建物向けエレベーター「NEXIEZ-LITE」を発売するなど事業を拡大しています。

今回、主要産業都市のひとつであるインド南部のベンガルール (バンガロール) の新工場を稼働し、エレベーターを現地生産化することにより製品競争力を強化し、さらなる事業拡大を目指します。

IMEC 社の概要

社名	Mitsubishi Elevator India Private Limited (三菱エレベーター・インド社)
代表者	社長 織田 巖
出資比率	三菱電機株式会社 45%、三菱電機ビルテクノサービス株式会社 5%、Mitsubishi Electric India Private Limited 5%、三菱商事株式会社 45%
資本金	1,785 百万インドルピー(約 33.5 億円)
設立	2012 年 8 月
従業員	約 1,000 名 (2016 年 3 月末時点)
事業内容	昇降機の販売・製造・工事・保守

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 ビルシステム海外事業部
東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
TEL 03-3218-3583 FAX 03-3218-2758